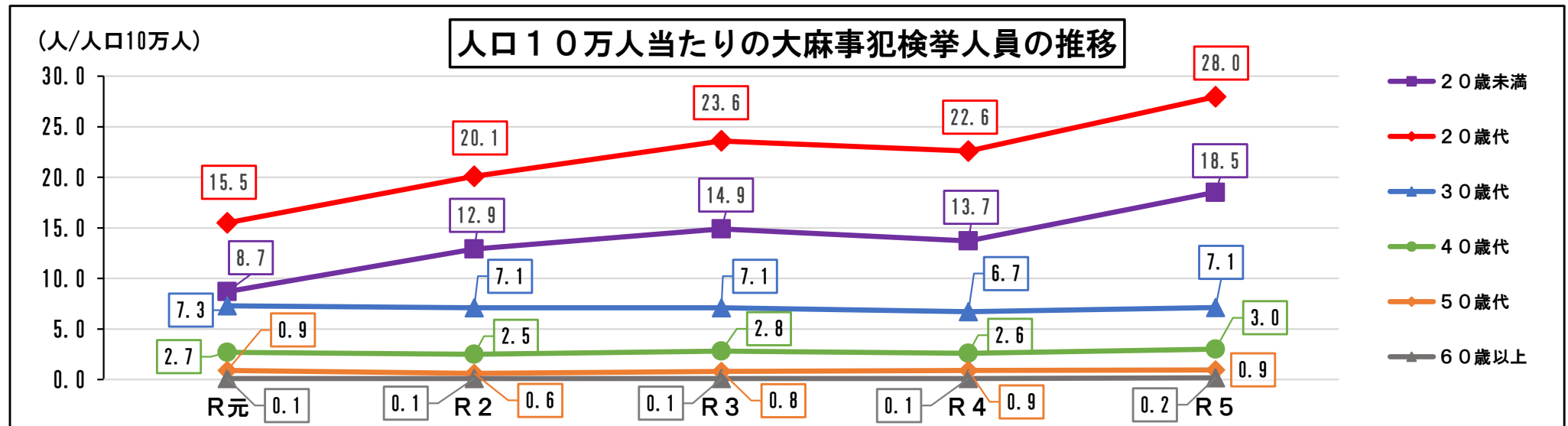
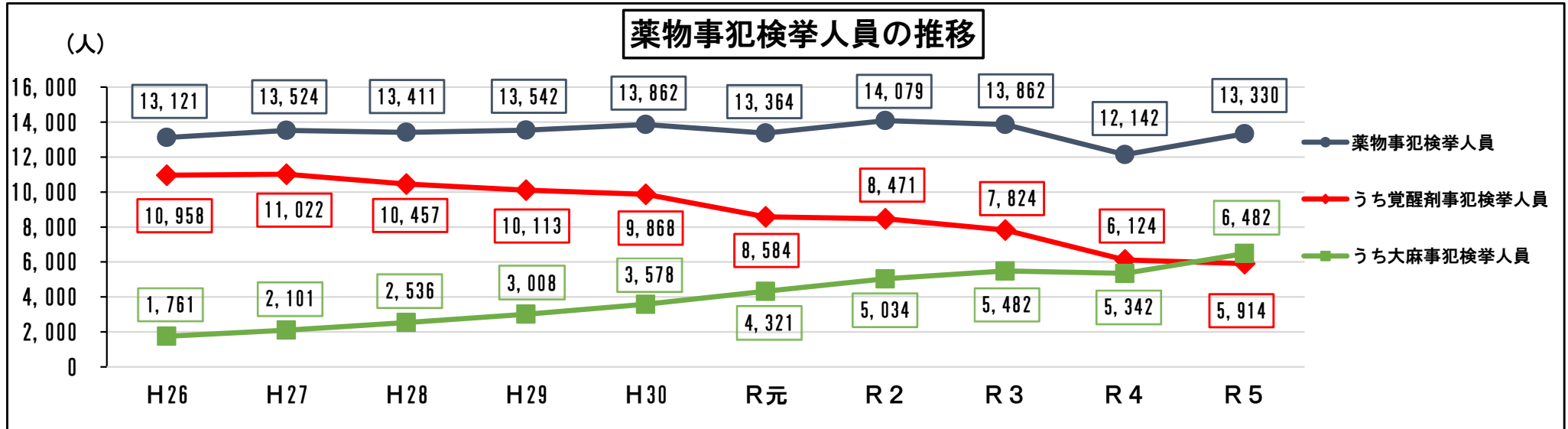


薬物事犯の検挙状況

【警察庁】

- 薬物事犯検挙人員は、近年横ばいが続く中、令和5年は前年より増加。このうち覚醒剤事犯は5,914人とやや減少し、大麻事犯は6,482人と過去最多となり、統計を取り始めて以降、初めて覚醒剤事犯を上回った。
- 人口10万人当たり的大麻事犯検挙人員は20歳代以下の若年層で大幅に増加。この年齢層で73.6%を占める。



(数値は暫定値)

